

大阪大会 平板測量競技会 競技実施要領

(出場校にお送りした平板測量競技会実施要項の抜粋です。)

【晴天時】

- (1) 競技基準
平成28年度全国大会実施基準により行う。
- (2) 指示事項
 - ア 縮尺は1/200とする。
 - イ 測点は、No. 1から左回りにNo. 6まで(6辺)の多角形とする。
 - ウ 6角形を区分する対角線はNo. 1～No. 3、No. 1～No. 4、No. 4～No. 6とする。
検線はNo. 2～K点とする。
 - エ 6角形を区分する三角形記号(あ、い、う、え)は各チームで統一させる。
 - オ 測点は競技場各コートに杭を打って示す。
 - カ 出場校番号は、平成28年度春期代議委員会での抽選結果による。
 - キ 所定の場所で器具点検を行う。事前に配布したラベルを平板裏面に貼っておくこと。
(第1次・第2次作業に必要な用具は、器具点検所の所定のコンテナに入れてよい。担当生徒が
内業会場(器具置場)へ移動して管理する。)
 - ク 踏査は放送の指示で行い、審査員が案内する。
 - ケ 踏査を終了したチームは、図紙を受け取り競技の準備をし、No. 1付近のサークル内で待機する。
(必要のない用具は、コート外の机の上に置く。)
 - コ 第1次作業開始の合図は審査長が旗で行う。
旗を頭上に掲げる → 頭上で3回まわす『用意』 → 真上から真下に旗を下げる『始め』
 - サ 第1次作業が終了した選手は巻尺を巻き、ポール・測距用ピンを所持して最終点に集合し、挙手と声
『終了しました』で終了の合図をする。平板は最終点上に据え付けたままとする。その後、選手はサ
ークル内で待機し、審査員の点検を受ける。(点検中は時間外扱い。)
点検終了後、図紙をつけたまま平板を三脚より取り外し、審査員に提出する。
 - シ 第2次作業開始前、選手はオフセット野帳を受け取り、サークル内で第2次作業の準備を行い、開始
の合図を待つ。(必要のない用具は、コート外の机の上に置く。)
 - ス 第2次作業開始の合図は第1次作業と同様とする。対角線、検線については指示通りとする。
 - セ 第2次作業が終了した選手は巻尺を巻き、ポール・測距用ピンを所持してサークル内に集合し、挙手
と声『終了しました』で終了の合図をする。
その後、オフセット野帳を審査員に提出し、サークル内で待機して審査員の点検を受ける。
そして、放送の指示に従い外業会場より退場し、誘導係の誘導により第3次作業会場(内業会場)
に移動する。(第3次作業に必要な用具は、移動途中の内業待機場場に置く。)
 - ソ 内業会場では、三斜法・図面仕上げ、三辺法それぞれの席に着席後、開始の合図を待つ。
 - タ 内業は笛による『用意、ピーッ。』の合図により始める。
 - チ 作業が終了したチームは、製図用紙・計算用紙を裏返してから無言の挙手によって終了の合図をする。
その後、全チームが終了するまで静かに待ち、放送の指示に従って退場する。
なお、製図用紙・オフセット野帳・計算用紙は机の上に置き、その他の用具は持ち帰る。
 - ツ 競技中の質問、異議申し立ては一切受け付けない。また、成果物の返却、および採点結果の発表は行
わない。
- (3) 選手に対する一般注意事項
 - ア 大会運営関係者(許可されたものを含む)以外の、前日や競技前の会場下見を禁止する。また、競
技中も立ち入り禁止区域への立ち入りは認めない。なお、これらの行為があった場合、原則として
不正行為とみなす。
 - イ 競技に関する所定の野帳・用紙は会場に掲示する。
 - ウ 服装は受付時より実習服・地下足袋または運動靴(長靴可)とし、ゼッケン(受付時に配布)を必ず
着用する。
 - エ 競技時間を超過した時、又は競技終了の合図を行った選手(チーム)は競技を継続してはならない。
 - オ 病気・事故が発生した場合は、審査員・運営スタッフに申し出る。
 - カ 貴重品の管理は、各チームで責任を持って行う。
 - キ 競技会場への携帯電話等の通信機器の持ち込みを禁止する。
- (4) 引率者、補欠の選手に対する注意事項
 - ア 引率者、補欠選手は競技場への入場、見学は禁止とする。
 - イ 引率者、補欠選手は引率者控所を準備しますので、ご利用ください。
- (5) その他
競技中に突発事故が発生した場合は、審査長および実施本部の指示に従うこと。

【雨天時】

- (1) 競技基準
平成28年度全国大会実施基準により行う。
- (2) 指示事項
 - ア 縮尺は1/200とする。
 - イ 測点は、No. 1から左回りにNo. 6まで(6辺)の多角形とする。
 - ウ 六角形を区分する対角線はNo. 1～No. 3、No. 1～No. 4、No. 4～No. 6とする。
検線はNo. 2～No. 5点とする。
 - エ 六角形を区分する三角形記号(あ、い、う、え)は各チームで統一させる。
 - オ 雨天時の競技は、晴天時競技の内業会場で実施する。
 - カ 第1次作業の開始前に、作業に必要な器具の点検を受ける。
審査員より直角座標値を記入した問題・図紙・オフセット野帳を受け取り、競技開始の合図を静かに待つ。
 - キ 第1次作業の開始の合図は笛で行い、『用意、ピーッ。』により、各回次毎に行う。
 - ク 第1次作業が終了したチームは、問題・図紙・オフセット野帳を裏返し、無言の挙手によって終了の合図をする。その後、全チームが終了するまで静かに待ち、進行係の指示に従って退場する。
なお、直角座標値を記入した、問題・図紙・オフセット野帳は机上にそのままにしておく。
(再入場は、進行係の指示を受けた後とし、係の指示に従う。)
 - ケ 第2次作業の開始前に、審査員より図紙・オフセット野帳・計算簿・計算用紙を受け取り、競技開始の合図を静かに待つ。
 - コ 第2次作業の開始の合図は、笛による『用意、ピーッ。』の合図により、各回次毎に行う。
 - サ 作業が終了したチームは、図紙・オフセット野帳・計算簿・計算用紙を裏返し、無言の挙手によって終了の合図をする。
その後、全チームが終了するまで静かに待ち、放送の指示に従って退場する。
なお、図紙・オフセット野帳・計算簿・計算用紙は机上に置き、ゼッケンやその他の用具は持ち帰る。
 - シ 競技中の質問、異議申し立ては一切受け付けない。また、成果物の返却、および採点結果の発表は行わない。
- (3) 選手に対する一般注意事項
晴天時に準ずる。
- (4) 引率者、補欠の選手に対する注意事項
晴天時に準ずる。
- (5) その他
競技中に突発事故が発生した場合は、審査長および実施本部の指示に従うこと。